

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 211-0021

住 所 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

氏 名 独立行政法人労働者健康安全機構

理事長 有賀 徹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	独立行政法人労働者健康安全機構		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区木月住吉町1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	労働者の健康福祉事業(一般病院等)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,985	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018 年度)	(2019 年度)	(2020 年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 8,081	(実) 7,838	(実) 7,839	(実)	(実) 7,839
	(調) 8,067	(調) 7,903	(調) 7,925	(調)	(調) 7,825
削減率		(実) 3.0 %	(実) 3.0 %	(実) %	(実) 3.0 %
		(調) 2.0 %	(調) 1.8 %	(調) %	(調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	建物延床面積			原単位等の単位	t-CO2/m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2018 年度)	(2019 年度)	(2020 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	0.1071	0.1039	0.1039		0.1039
活動量の値	75409	75409	75409		-
排出量原単位等の削減率		3.0 %	3.0 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	○関東労災病院本館各所廊下、外来棟放射線科技師室など施設内照明のLED化(計558灯)による温室効果ガス排出抑制の効果で、温室効果ガスの排出量を削減した。 ○熱源設備（2018年度コージェネ等）の更新による温室効果ガス排出削減の効果が出た。	
第2年度	○関東労災病院本館・外来棟各所廊下、トイレなど施設内照明のLED化(計293灯)による温室効果ガス排出抑制の効果で、温室効果ガスの排出量を削減した。 ○2019年度に対し、猛暑・厳冬であったため、前年比で温室効果ガス排出量が増加する結果となった。	
第3年度		
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①省エネルギーを推進するため、省エネ推進体制の整備に努める。 ②温室効果ガス排出抑制のため、実行計画の取り組みや進捗状況について調査を実施する。 ③主要設備等の保全管理として、施設の利用実態に合わせて、エネルギー管理標準の定期的な見直しを行い、設備管理の徹底ならびに運用改善の推進に努める。 ④具体的には、健康管理センターの空調設備更新にあたって、全館空調から個別空調の方式に変更し、受変電設備の容量と使用頻度を勘案しながら熱源選択(GHPまたはEHP)を行う。また、関東労災病院全体で、高効率な照明器具の導入を継続的に推進する。 平成30年12月に熱源機器を更新しており、稼動初年度の実績を確認しながら最適な熱効率を目指し、チューニングを進める。</p>
<p>第1年度</p>	<p>①デジタルサイネージを用いて職員へ省エネルギーに対する意識を向上させた。 ②PDCAサイクルに従って継続的に取り組み、管理用マニュアルを再度見直しデータの計測、記録の適切な運用を行った。 ③ボイラ、ガス吸収式冷温水機の空気比についての管理標準を見直した。 ④関東労災病院本館各所廊下、栄養管理室厨房、外来棟放射線科技師室など施設内照明のLED化(計558灯)を行った。また、熱源設備(2018年度コージェネ等)の更新による温室効果ガス排出削減の効果が出た。 関東労災病院の冷水・温水2次ポンプ、ガス吸収式冷温水機、ジェネリンクなど熱源機器に対して、チューニングを行った。</p>
<p>第2年度</p>	<p>①デジタルサイネージを用いて職員へ省エネルギーに対する意識を向上させた。 ②PDCAサイクルに従って継続的に取り組み、管理用マニュアルを再度見直しデータの計測、記録の適切な運用を行った。 ③設備管理の徹底、運用改善の促進を行った。 ④関東労災病院本館・外来棟各所廊下、トイレなど施設内照明のLED化(計293灯)による温室効果ガス排出抑制の効果で、温室効果ガスの排出量を削減した。</p>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務用品等に対してグリーン購入の推進を図った。 2. 廃棄物の分別化を図った。 3. 職員のクールビズ実施期間の延長を図った。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務用品等に対してグリーン購入の推進を図った。 2. 廃棄物の分別化を図った。 3. 職員のクールビズ実施期間の延長を図った。
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,081 t-CO ₂	7,838 t-CO ₂	7,839 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,060 KL	3,927 KL	3,985 KL	KL
事業所の数	5	5	5	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
関東労災病院	川崎市中原区木月住吉町1番1号	6,317	6,121	6,193	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
労働安全衛生総合研究所	川崎市多摩区長尾6-21-1	1,503	1,475	1,462	